雜 錄 Miscellaneous

OBladhia punctata (LINDLEY) NAKAI ノ名ハ生キル (御江久夫)

曹ツテからたちばな即チ Bladhia crispa THUNBERG =用ヒラレタ學名ノーツ= B. punctata (LINDLEY) NAKAI ト云フノガアル。此レハ Ardisia punctata LINDLEY カラ導カレタ 組合セデアル事ハ言フ迄モ無イガ、此ノ植物ハ元來、南支那ノ植物デ HANDEL-MAZZETTI ノ武ノ如ク、からたちばなトハ可成リ異ツタ種類デアル。筆者ハ此ノ日支事變ノ始ツタ年、即チ昭和 12 年ノ春ト夏2回福州附近ノ山地デ本種ヲ採ツタ事ガアルガ、葉ハ長精圓狀披針形デ質厚ク、花序ハ勿論、幹モ二年前位ノ所迄ハ褐色ノ毛ガ密生シテ居ルノデ直=區別出來ル。其レデ此レヲ元通リ獨立ノ別種トシテ且又 Bladhia 屬トシテ取扱フトスレバ學名ハドウスレバ宜シイカ。筆者ニハ其ノ處置法ガ良ク判ラナイガ命名規約第54 條ノ後半ヲ適用シテ下記ノ名ヲ起用ス可キデハ無イカト考へル。

Bladhia punctata (Lindley) Nakai, Trees & Shrubs Jap. ed. 1, vol. I, p. 209 (1922), nomen tantum.

Syn. Ardisia punctata Lindley in Bot. Reg. X, pl. 827 (1824); Mez in Engler, Pflanzenreich, Heft 9, p. 142 (1902) pro parte?: Handel-Mazzetti, Symb. Sin. VII, p. 755 (1936).

Tinus punctata (Lindley) O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II, p. 974 (1891).

Ardisia crispa (non DC.) Mez in Engler, Pflanzenreich. Heft 9, p. 144 (1902) pro parte, quoad specimen Warburgi no. 5774.

Hab, in China australi.

(H. MIGO)

上記ノ MEZ ガ A puctataトシテ記載シテ居ルモノハ其ノ交面ト名稱カラ判斷シテ本種
ヲ指スモノデアル事ニ疑問ノ餘地ハ無イ様ニ見エルガ、末尾ニ本種ガ日本デ栽培サレテ居
ルト書イテ居ル事カラ判斷スレバ――本種ガ日本デ栽培サレテ 居ルトハー寸考ヘラレナイ
カラ――からたちばなヤまんりやう等ノ栽培品ト本種トヲ 混同シテ居ルノデハナイカト云
フ疑問ガ涌イテ來ル。 併シ其ノ邊ノ結論ハ MEZ ノ引用標本ヲ實見シナイ事ニハ不可能ナノデ暫ク差控へ一先が上記ノ様ニ疑問符ヲ附スルニ留メル。 大體本種ニ限ラズからたちばなヤまんりやうハ文献ガ非常ニ混亂シテ居ル様ニ思ハレルガ、 其ノ整理ハ筆者ノ境遇ヤ能力デハ手ニ負ヘナイ事ナノデ是レ亦觸レナイデ置ク。ナホ LINDLEY ガ Botanical Registerニ ■説シテ居ル所ノ本種ハ幹ノ先端ニ 數個ノ花序ガ集合シテ居ル 様ニ霊イテアルガ、ソウ云フ状態ノモノニハ筆者ハ未ダ行キ當ツタ経験ガ無イ。

〇おにじゅずだま支那ニモアリ(御江久夫)

じゅずだまハ支那デハ少シモ 珍ラシイモノデハナイガ、 おにじゅずだまハ 未ダ知ラレテ

居ナイ様デアルカラー寸報告スル。引用標本ノ内四川産ハ寺院ノ栽培品デアルガ貴州産ハ 栽培品カ自生品カ不明デアル。

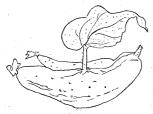
Coix Lachryma-Jobi L. var. maxima Makino in Bot. Mag. Tokyo, XX, p. 10 (1906); Honda, Monogr. Poa. p. 416 (1930).

Hab. Prov. Szenchuan—Mt. Omei. cult. (H. Y. Ho, Sept. 29, 1935, no. 9982); Prov. Kweichow—Tuhshan, border of Kwangsi (Y. Tsiang, Aug. 20, 1930, no. 6491). (H. Migo)

〇きうりノ畸形品 (大田繁則)

きらりノ畸形品トシテ第1圖ノ如キモノヲ筆者ハ先年觀察略寫シテ置イタ。果實上ニ葉

ヲ持ツモノハ既ニ知ラレテキルモノデアルが、 之ハ少シク畸形ノ度ヲ深メテキルノデ茲ニ報告 スル久第デアル。即チ二果接着、一葉附着ノモ ノデアル。第2圖ニ示スモノハきうりノ卷髪 上ニ雄花ヲ持ツタモノデアル。斯様ナモノが數 株アラハレ、アルモノハ卷鬚ガ分岐シテ其ノ一 方ニ雄花ヲ持ツタ何レモ卷鬢ノ基部カラ10cm 内外離レタ位置ニ雄花ヲ持チ、卷鬚ノ基部又ハ 先端部ニ蕾ヲ持テルモノハ無カツタ。



第 1 圖 きうりノ畸形品(×1/3) (1935 年 6 月 28 日大田寫生)



第 2 圖 き 5 り ノ 卷鬚上 = 雄花吹 ク (×1/7) (1939 年 6 月 9 日大田撮影)

雌花ヲ持ツタモノハ未ダ觀察シナイガ雌花ナレバ一層面白イト思フ。

〇岩政定治氏ノ種子ケ島ノ採集品(津山 尚)

1937 年 4 月 - 廣島文理科大學デ蘚苔類ヲ專心研究中ノ岩政氏ハ堀川博士 - 隨ツテ種子ケ島ヲ採集シタ。採集ノ主目的ハ蘚苔 - アツタガ、同氏ハ顯花植物モ採集シタ。ソノ中 - アツタ注意スペキモノ2種ヲ紹介スル。

1. Clematis crassifolia Bentham, Fl. Honkong. p. 7 (1861) やまはんしゃうづる 同島ノ古田官有林デ採ツタモノ。三小葉ハ非常=厚ク、鈍頭デ香港ノ植物=ヨル Bentham ノ原記載=ヨク一致スル。惜イ事=花ガナイケレドモ、コーノ種デアル事=間違ハナイト思